

令和3年度 一般廃棄物焼却処理施設 維持管理記録簿

舞鶴市清掃事務所

1. 施設の状況

種類		基準	(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(平均)	
第一工場	一般廃棄物(可燃ごみ)	焼却量	(t/月)	841.21	842.73	928.65	816.92	747.64	1,435.62	1,653.77	1,618.70	1,575.48	648.65	374.31	1,461.41	12,945.09	
第二工場				1,052.69	936.43	1,202.63	1,004.30	887.61	221.71	0.00	0.00	50.25	790.59	947.52	102.22	7,195.95	
第一工場	1号炉	燃烧ガス温度	800以上	(°C)	915	913	915	910	913	912	908	902	906	912	914	—	911
		集じん器入口ガス温度	概ね200以下	(°C)	182	182	182	182	182	182	182	182	182	182	182	—	182
		排ガス中の一酸化炭素濃度	100以下(1h平均値)	(ppm)	12	12	17	10	8	4	3	5	9	7	8	—	9
	2号炉	燃烧ガス温度	800以上	(°C)	—	—	—	—	—	917	914	917	916	920	919	919	917
		集じん器入口ガス温度	概ね200以下	(°C)	—	—	—	—	—	182	182	182	182	182	182	182	182
		排ガス中の一酸化炭素濃度	100以下(1h平均値)	(ppm)	—	—	—	—	—	6	5	4	4	6	6	5	5
第二工場	1号炉	燃烧ガス温度	800以上	(°C)	927	926	923	918	911	910	—	—	896	908	912	912	914
	2号炉	燃烧ガス温度	800以上	(°C)	926	917	923	918	914	916	—	—	879	900	898	904	910
	共通	集じん器入口ガス温度	概ね200以下	(°C)	176	176	176	177	176	176	—	—	180	178	175	176	177
		排ガス中の一酸化炭素濃度	100以下(1h平均値)	(ppm)	11	10	11	11	7	22	—	—	16	9	3	29	13

※燃烧ガス温度、集じん器入口温度、排ガス中の一酸化炭素濃度は連続記録の為1ヶ月の平均値としています。

※2021年8月まで第一工場2号炉は整備工場の為、焼却運転なし。

※2021年10月～11月は第二工場定期修繕補修工場の為、焼却運転なし。

2. 排ガス中のばい煙濃度、ダイオキシン類濃度

測定月	測定日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	測定結果が得られた日	—	—	26日	—	—	19日	—	2日	—	29日	—	14日	19日
測定項目	基準	(単位)	—	6/25	—	8/16	—	10/4	—	12/28	—	2/14	3/4	3/28
ばいじん濃度	0.15以下	(g/Nm ³)	—	<0.002	—	0.003	—	0.002	—	<0.002	—	0.002	<0.001	<0.001
硫黄酸化物排出量	—	(Nm ³ /h)	—	0.09	—	0.077	—	0.04	—	<0.037	—	<0.047	0.17	0.17
硫酸酸化物排出量	11.5以下	(K値)	—	0.016	—	0.015	—	0.007	—	<0.007	—	<0.008	0.031	0.031
窒素酸化物排出量	250以下	(ppm)	—	100	—	88	—	94	—	82	—	88	83	48
塩化水素濃度	700以下	(mg/Nm ³)	—	<4	—	<4	—	9	—	3	—	5	<4	<1
水銀濃度	50以下	(µg/m ³ N)	—	0.43	—	—	—	0.41	—	—	—	0.25	—	—
ダイオキシン類濃度	5以下	(ng-TEQ/Nm ³)	—	—	—	0.031	—	—	—	—	—	—	—	—

測定月	測定日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	測定結果が得られた日	—	—	26日	—	—	19日	—	2日	—	22日	—	14日	19日
測定項目	基準	(単位)	—	6/25	—	8/16	—	10/4	—	—	1/20	2/14	3/4	—
ばいじん濃度	0.25以下	(g/Nm ³)	—	<0.002	—	0.002	—	0.003	—	—	0.005	<0.002	<0.002	<0.001
硫黄酸化物排出量	—	(Nm ³ /h)	—	0.44	—	0.39	—	0.67	—	—	0.7	0.45	0.52	0.52
硫酸酸化物排出量	11.5以下	(K値)	—	0.11	—	0.098	—	0.17	—	—	0.17	0.11	0.13	0.13
窒素酸化物排出量	250以下	(ppm)	—	110	—	103	—	108	—	—	104	128	110	70
塩化水素濃度	700以下	(mg/Nm ³)	—	85	—	141	—	196	—	—	77	228	8	3
水銀濃度	50以下	(µg/m ³ N)	—	2.3	—	—	—	3.7	—	—	—	2.3	—	—
ダイオキシン類濃度	10以下	(ng-TEQ/Nm ³)	—	—	—	0.076	—	—	—	—	—	—	—	—

※ばい煙濃度は6回/年、ダイオキシン類濃度は1回/年、水銀濃度は3回/年、分析機関による検査を実施しています

※測定値は酸素補正值(12%換算)を記載しています。

3. 排ガス処理設備、冷却設備に堆積したばいじんを除去した日

実施箇所	実施箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第一工場	排ガス処理設備	冷却設備	1	-	-	18	16,23	-	-	-	-	-	-
排ガス処理設備														
第二工場	排ガス処理設備	冷却設備	5,18	17,23 31	6,20	5,12	2,916 23,30	-	-	-	-	17,24 31	7,14	-
	排ガス処理設備													

【用語説明】

- ◇ ばいじんとは
大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、ごみ焼却炉など燃焼に伴って発生するススなどを「ばいじん」と呼んでいます。
- ◇ 硫黄酸化物とは
石油や石炭、ごみなどが燃焼するとき、これらの燃料やごみに含まれる硫黄分が酸素と結合して発生するものです。
- ◇ 窒素酸化物とは
物の燃焼に伴って大気中の窒素が酸化されてできるものと、燃料や燃焼させる物体に含まれる窒素分が燃焼に伴い酸化されてできるものがあります。
- ◇ 塩化水素とは
塩化ビニル樹脂（ポリ塩化ビニル）を含むごみを焼却したときに発生するものです。
- ◇ ダイオキシン類とは
ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンソフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
これらの分子構造中の塩素数とその位置によって性質が異なります。なかでも塩素の数が4個の2,3,7,8-四塩化ジオキシンが最も毒性が強いです。
- ◇ K値（K値規制）とは
硫黄酸化物の排出基準は、煙突の高さ及びK値（地域ごとに定める係数）から「許容限度」として定められており、ばい煙発生施設ごとに算出された排出量について、排出規制を実施されています。
- ◇ Nm³とは
0℃、1気圧に換算した状態での体積です。
- ◇ ppmとは
百万分の1という割合を表示する記号です。
- ◇ ng（ナノグラム）とは
ナノは単位のひとつで10億分の1（10の-9乗）を示します。
- ◇ TEQ（毒性等量）とは
ダイオキシン類は多くの異性体を持ち、それぞれ毒性の強さが異なる。異性体の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジオキシンの毒性を1として各異性体の毒性を毒性等価係数により換算した量です。
- ◇ 水銀とは
金属の中で唯一、常温で液体の性質を持つ金属で、その性質を利用して温度計や血圧計などに用いられています。
水銀の毒性は化学形態の違いにより異なりますが、特にメチル水銀は、人の中枢神経系に対する毒性が強い特徴があります。